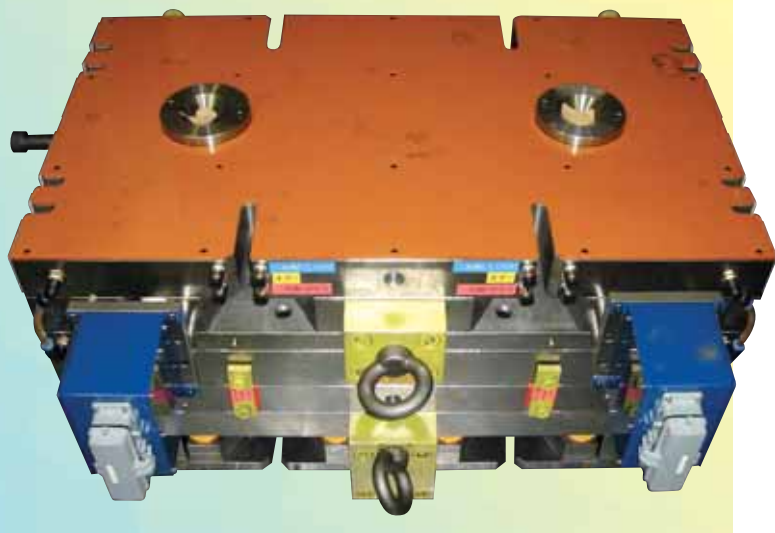


歯ブラシの町を支える 挑戦者のものづくり



株式会社武林製作所

**自由な発想を活かす
生産性も考慮**

「八尾は歯ブラシの町」。八尾市は古くからヘアブラシ、歯ブラシの製造を地場産業として栄えてきた。ブラシ製造は大半が海外に移転してしまつたが、歯ブラシ作りは今も健在。いくつもの関連企業が技術の粋をこらした歯ブラシを製造している。

武林製作所は各種プラスチック用金型の設計・製作を手がける企業。高い技術で歯ブラシの柄部分の金型を作り、地場産業を支えている。

曲線の多さ、肉厚なプラスチックを使う「厚物」であること、表も裏もない構造、なめらかさや手触りの良さなど、歯ブラシの柄には思いもよらないほど高度な技術が詰まっている。機械が整備されていなかった時代はもとより、コンピューターや高性能機器が導入された現在でも、技術的には難しく、対応できる企業が少ないのだという。

同社最大の強みは、曲線への対応、2色の同時成型、鏡面磨き等、メー



カーの期待に応える技術力にある。「メーカーさんのこだわりや、デザイナーさんの自由な発想をできるだけ活かす、イメージを崩さない金型を心がけています」という武林敏夫社長。「コストを抑えつつ、生産能力も考慮して金型を作ります。メーカーからもらったデザインをそのまま実現するだけでは、不具合も出てしまう。金型の寿命も大切な要素の一つです。完成イメージがわきやすいようにと、三次元データでの提案や簡単なデザインも手がける。「歯ブラシのことなら1から10までわかりますよ」という社長の下、メーカーとともに作り上げる姿勢が同社の成長を支えている。

挑戦を続けることが 個人の成長と会社の発展に

ものづくりに愛情と情熱を注ぐ同社。「いいものを作り続けたい」という社長には、まだまだ挑戦したいことがたくさんあるという。「何かを作っていてうまくいったら、ゾクッとします。人ができないことを、一生懸命考えてできたときは、涙が出るほどうれしい。ものを作っているときが一番楽しいんです」と武林社長はうれしそうに語る。「一年に一つ、良いひらめきがあると、現場の士気も上がる」といい、それぞれの社員が競い合つて腕を上げているのだ。

「常に挑戦」を志し、取引先には「他社ではできない依頼をしてほしい」と言う。そして社員には「挑戦→責任→自信→成長」のスパイラルで伸びてほしいと願っている。「難し

いものに取り組むと、技術が上がるだけでなく、スピードも流れも良くなり、自信へとつながるのです」と武林社長。挑戦を続けることが、個人の成長にも会社の発展にもつながっていく。「継いでいくのは若い人。従来の方や先人の財産を引き継ぎつつ、時代のニーズに合ったものを作らなければなりません。難しいですけれど『仕事をしていて良かったものを作っていて良かった』と感じられると思います。同社では、今後ものづくりを大切に、時代に応じた金型を作り続ける。

主な事業内容

歯ブラシ・歯間
ブラシ・日用雑
貨等各種プラスチック
金型設備
計製作、貸倉庫
業等



武林敏夫さん
代表取締役

株式会社武林製作所

Company Profile

住所 / 〒581-0834
大阪府八尾市豊振町7-5-2
創業 / 昭和47年10月
設立 / 平成2年1月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 18名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-998-1207
FAX / 072-922-6525

ISO 9001

<http://www.tmc1972.com/>

大阪
20